

防災バッグをチェック

避難時に持ち出す防災バッグは、3日分を目安に準備することが推奨されています。

防災バッグは、年齢や家族構成、嗜好などにより、一人一人必要なものや内容が異なります。自分や家族の避難を支える、自分だけの防災バッグを作ってみませんか？

みんなに必要なもの(一例)

- ☐ 飲料水
- ☐ 食料(調理不要なもの)
- ☐ タオル、ウェットティッシュ
- ☐ 着替え
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 防災ビニール袋など
- ☐ モバイルバッテリー



たとえば…

私に必要なもの

- ☐ 常備薬や持病の薬
- ☐ オムツ・ミルク・ベビーフード
(赤ちゃんを避難する人)
- ☐ 水不要シャンプーや体ふきシート
(好きな香りでリフレッシュ効果も)
- ☐ 飴やチョコレートなど
(甘いものがあると落ち着く人)
- ☐ トランプや折り紙など

山口家ではこう作る!

幼稚園児～小学生の3人のこどもがいる3世代家族なので、避難所に行くとなると基本的な食料や飲料水などに加えて、こどもたちが退屈せず、そして少しでも安心して楽しく過ごせるように柔らかい小さなボールやクレヨン、画用紙などを入れます。



あなたと家族を守るために…

災害への備えが安心へ

さあ、広げて確認！
ハザードマップ

ハザードマップはこう使う！

①自宅の場所を探そう

まずは自宅周辺の想定される浸水の深さや土砂災害の危険性などを確認します。

②避難場所を確認し、避難経路を設定しよう

浸水の状況により、避難する方向が示されている場合もあります。安全に避難できるように経路を確認しましょう。

③学校や勤務先など、よく行く場所の危険箇所や最寄りの避難場所を確認しよう

災害はいつやってくるかわかりません。よく行く場所の危険箇所や避難場所を確認しましょう。

④災害時の対応を話し合おう

平日の日中に災害が起きたら？休日になったら？連絡はどうする？防災バッグの中身は？など対応を話し合っておきましょう。

みんなで
見よう!



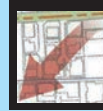
緊急避難場所

災害の危険から一時的に逃れるための場所です。



避難所

被災者が避難生活を送るための施設です。



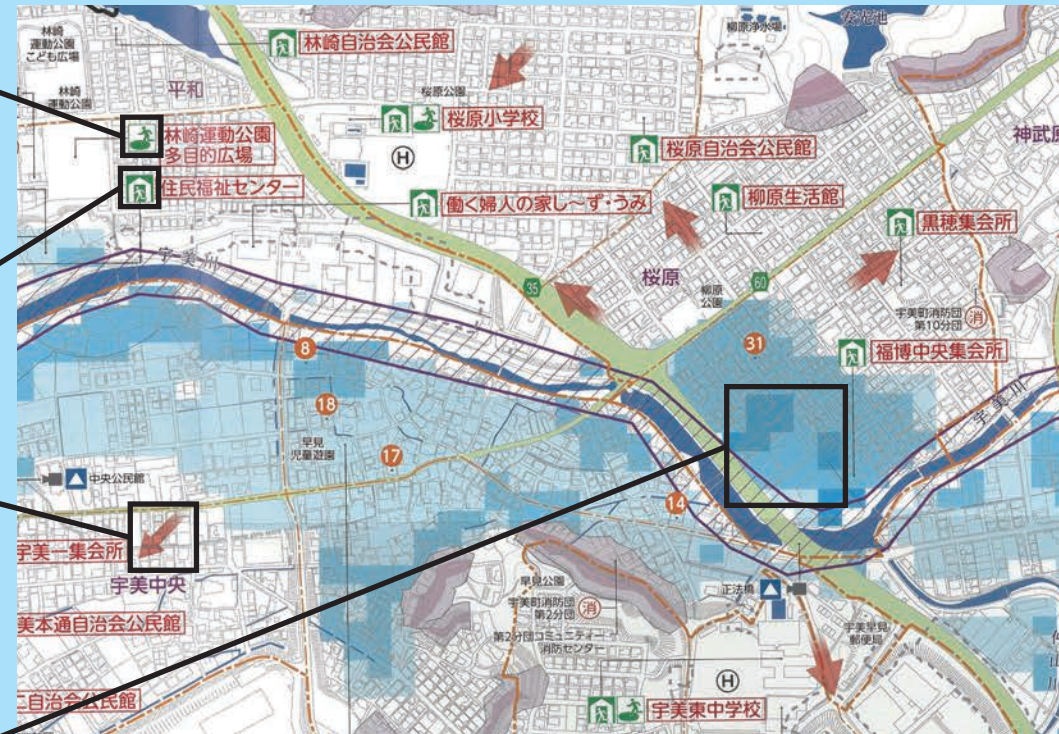
避難方向の目安

土砂崩れや浸水の想定により、避難を行う方向として示されています。指示がある方向にある避難所を目指して経路を設定しましょう。



浸水想定箇所

浸水した場合に想定される水深を色で分けて表示しています。濃い青色の箇所では、建物2階部分を超える水深が想定されます。



自宅の区域に…

色が塗られている

原則として、自宅の外に避難する必要があります。

色が塗られていない

周り比べて低い土地や崖のそばなどの場合は必要に応じて避難しましょう。

ハザードマップの見方

ハザードマップとは、宇美川などが氾濫した場合に想定される浸水の深さや範囲、避難場所、土砂災害警戒区域などを地図上で表したものです。

どこが避難所
だろう?



梅雨時期を迎え、今年も風水害の季節がやってきます。毎年日本各地で土砂崩れなどの災害が発生している中、宇美町でもいつ災害が起こるかわかりません。今月は、そんな災害への“備え”について特集します。備えが、いざという時の安心につながります。